

土木業に触れ 課題探究 山形で県高校生研究発表会

県高校生土木研究発表会が20日、山形市の山形国際交流プラザで開かれ、県内5校の生徒が建設業に理解を深めたり、課題を探究したりした成果を発表した。審査の結果、最優秀賞は、コンクリートについて学



山形県高校生土木研究発表会

県内の高校生が研究成果を披露した土木研究発表会
＝山形市・山形国際交流プラザ

び、発信する活動を展開した創学館高やまがた創造工学科住環境デザインコース

が選ばれた。

業界の担い手育成を目的に県建設業協会（太田政往会長）が主催し、2回目。米沢鶴城、新庄神室産業、創学館、山形工業、酒田光陵の各高校生徒が参加した。それぞれの地域課題と向き合い、企業や団体の協力を得ながら研究を進めた。

創学館高は「『学び』を『発信』へ 3団体連携プロジェクト」をコンクリートの仕事を知らう」をテーマに発表した。業界団体の協力を得ながら「コンクリート甲子園」に挑戦したほか、動画やポスターを作成した。甲子園は出場65チーム

中29位だったが、技術の奥深さを痛感する経験となったとした。3年江口千香菜さん(18)は「コンクリートの魅力を広めていきたい」と話した。

優秀賞の高校と研究テーマは次の通り。

- 山形工業高土木・化学科（山寺地区の魅力と課題を共に考える）放置竹林の有効活用）▽米沢鶴城高建設環境類土木コース（どこでもカーブミラー）ダレカの為にでぎルコト）▽新庄神室産業高環境デザイン科（ゆめりあ鉄道のまち創造プロジェクト Final plus）
- ▽酒田光陵高環境技術科（校内環境整備）

（大滝玲）